

自宅の外から宅内製品を操作する。ホームコントロールには本当の暮らしやすさを応援します。

1. 本当の暮らしやすさとは

近頃住宅をテーマにしたテレビ番組が多く放送されています。完成した住宅のデザインは素晴らしいものです。確かにデザインは住宅において重要なものです。

しかし、良いデザインの家は住みやすい家なのでしょうか？

大きな吹き抜けと大空間の居間は冬たいへん寒いです。1枚ガラスで構成された大きな窓は冬結露しますし、カビが生えて臭いです。それに夏は暑くて大変です。夏冬にはクーラーがフル回転で電気代は普通の家の2倍です。

壁が少ないということは家具を置けるスペースが少ないということ。物が無い家は美しいですが現実には物に囲まれて暮らしています。



2. 欧米では一般的なホームコントロール

家の外から宅内をコントロールするホームコントロールは、欧米でも発展しています。これは文化の違いも大きいのですが、

良い家＝住みやすい家

という考えがあるからです。つまり、住みやすい家は自分で作り上げるということなのです。

3. 鉄腕アトムに住む世界

2003年4月7日は鉄腕アトムの誕生

日です。現実の世界では、残念ながら意思を持ったロボットと空飛ぶ車はまだ生まれていません。しかし現実となった物も数多く存在しています。例えば、テレビ電話、携帯テレビ電話、ホームコントロール等です。

携帯電話によるインターネット接続が進んでいる日本においては、予想以上のホームコントロールが可能になっています。

以下は、全て携帯電話からコントロール可能です。

- テレビ番組の録画設定
- 電灯のON/OFF
- クーラーのON/OFF
- ペットの状態を携帯電話でみながら餌をあげる
- 泥棒進入を検知して警報を鳴らす
- ドアロックの設定/解除
- 洗濯機のON/OFF
- 宅内に設置したカメラからの画像確認

これらはほんの一例です。ホームコントロールはまだ進化します。

「どうせ1000万円とか必要なんでしょ」と思われるかもしれませんが、上記機能を全て実現しても50万円でおつりがくるのです。

4. ホームコントロールの基本

ホームコントロールの基本は、インターネットの常時接続とホームネットワークにより実現されます。信号データは暗号化されインターネット経由で自宅まで届きます。

ホームネットワークとは、有線接続でインターネットのデータを全ての部屋まで届けることを基本とします。ホームネットワークが無ければ、ホームコントロールは実現できないのです。



5. 今準備すべきこと

将来様々な製品が宅外からコントロールできるようになります。どんな製品が出てきても大丈夫のように、住宅の新築、改築およびリフォームにはホームネットワークを考えましょう。

「製品が出てきた時に、無線LANでつなげばいいんじゃないの？」と言われる方もいらっしゃる。しかし、無線LANには大きなデメリットが潜んでいます。

違法のトラック無線がカーラジオに飛び込んできた事はありませんか？エアコンが、誤動作したらどうなりますか？ドアロックが勝手に開いたら？

始まったばかりの地上波デジタル放送に必要なチューナーにはLANに接続する口が付いています。なぜ無線LANじゃないのでしょうか。それは、最も安全で確実な接続手段だからです。

インフォソケットは、ご要望に合わせたホームコントロールとホームネットワークをご提案いたします。